

東日本大震災から12年 ~大切なのは、すぐ逃げること~

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、今年で12年になります。死者15,900人、行方不明者2,523人(令和4年3月10日現在)など、多くのかたが津波により犠牲となりました。鳥羽市でも、南海トラフ地震が発生した場合、東日本大震災と同じような状況となる可能性があります。

災害への備えを再確認するとともに、防災意識をより一層高めましょう。

津波からの避難は、「より遠く、より高く!」

津波から命を守るために、**想定にとらわれず、迷わず、とにかく早く高い場所へ**避難しましょう。まずは自分から率先して避難することで、周りのかたも避難行動をおこすきっかけになります。

東日本大震災から得られた「**すぐ逃げる**」という教訓を忘れることなく、一人一人が日頃から意識を持って備えておくことが命を救うことにつながります。



地震・津波に対する 日頃の備え

●家の中を安全に

避難の妨げになる物を玄関や部屋の出入り口・通路に置いていないか、就寝中に倒れて下敷きになるような家具がないかなど、家の中の「危険な場所」「安全な場所」を確認しておき、可能な限り対策を講じておきましょう。

●ハザードマップや避難経路・避難場所の確認

自宅・勤務先・学校などの周辺状況を確認しておきましょう。ハザードマップを参考に、最も安全な避難経路を検討し、危険箇所(細い路地やブロック塀など)があれば倒壊により道路がふさがれる可能性があるため近づかないようにしましょう。

●非常持ち出し品のポイント

- ①持ち運びしやすいリュックや旅行かばんなどに、自分にあった重さで準備しましょう。
- ②水・電気・ガスなどがすべて止まってしまった場合を想定し、準備しておきましょう。
- ③お年寄りや子どもに必要な物、感染症対策グッズ(マスク・体温計・アルコールなど)、そのほか自分にとって生活に必要な物を追加しましょう。

総務課防災危機管理室

一人一人が備えてこ!

防災力UP!鳥羽

☎ 25 1118

vol.117



消費者トラブルにご用心!

vol.47

消費生活相談

受付時間：平日(祝日を除く)
午前9時~正午、午後1時~4時

場所：伊勢市岩淵1丁目7番29号
(伊勢市役所本庁東館3階)

伊勢市消費生活センター ☎ 0596 21 5717
農水商工課商工労政係 ☎ 25 1156

定期購入に関する相談が引き続き多数寄せられています

○お試し価格・初回無料

お試し価格・初回無料と広告されているものは、『定期購入』になっている場合があります。解約期限を過ぎると解約できないケースがほとんどです。返金保証がある場合でも、期限内に事業者に連絡し、商品・外箱・納品書など、指定された物を全部返送する必要があります。

○テレビショッピング・新聞の折り込み広告など

「商品」を電話で注文する際、お試しのサプリメントを勧められた。送って良いかと聞かれたので了承したら定期購入契約になっていた。「健康食品」を注文時、3か月分まとめて注文した。定期購入にしたつもりはなかったが3か月後にまた3か月分送られてきたという相談が増えています。電話

注文時によく聞き取れず、適当に返事をしてしまったり、サンプルと言われたので無料だと思つて了承したという高齢者の被害が多いです。

アドバイス

○テレビショッピング、新聞の折り込み広告など

事業者の説明に不明な点がある場合は質問し、電話を切る前に定期購入になっていないか、返品・解約の条件などを確認しましょう。

○インターネット通信販売

最終確認画面で定期購入になっているか、返品・解約の条件などを確認し、画面のスクリーンショットを取りましょう。

○商品が到着した時

意図せず定期購入の契約になっていると、すぐに事業者に連絡し定期購入の申し込みはしていないことを冷静に伝えましょう。

インターネットショッピングやテレビラジオショッピング、新聞の折り込み広告やカタログ雑誌を見ての注文は、フリーリング・オフができません。試着後や試用後に返品できるかどうかは、返品規約をよく確認してください。

困った場合は、ひとりで悩まず、気軽に相談してください。